

## 女性のエンパワーメント

スシミタ・マナンドール（ネパール）

今日においてさえネパールでは、女性の声が社会に届くことはほとんどありません。ネパールは、男性が政治だけでなく日々の生活の決めごとに影響力を及ぼしている家父長制の社会であることを考えれば、これはまったく不思議なことではありません。

私は、草の根レベルからトップクラスに至るネパールの政党の女性議員と密接に活動をしてきました。ごくまれな一握りの女性を除き、政治のことであれば、経済や社会のことであれば、ネパール女性にはほとんど発言する権利がありません。都市部も例外ではありませんが、農村部の宗教上の慣習が文化や社会の障壁となり、女性たちを悪しき抑圧や束縛の連鎖の中に封じ込めています。私は、77 郡のうち 65 郡の女性党員と関係を築き、共に旅をし、親密な関係を共有しています。私自身が女性であるため、他の女性の気持ちを理解することができますし、また、どんな女性ともすぐに仲良くなることができます。

2006 年にはネパールで政党間女性同盟（Inter Party Women Alliance (IPWA)）が設立されました。これは、女性政治指導者の作業部会であり、一連の改革を伴うネパールの行動計画を確実に実施するため、ネパール女性のための共通政治フォーラムと同時に設立されたものです。長年続いた差別をなくし、女性の政治プロセスへの参加を確保するために、女性の地位を向上させる政策が政党および政府内部で実施されています。私はこれらの機関と密接に仕事をしてきました。IPWA は、これらの関連問題に対処するため、全国各地に支部を展開し、市民教育キャンペーンや擁護活動の拠点としています。IPWA の主な目的の 1 つはジェンダー主流化です。IPWA は各地域で声高に女性の権利を主張し、政府のあらゆるレベルで 33% の女性の参画を確保すること、また特に新憲法における女性の利益を保護することを訴えました。その結果 2007 年 5 月に、政府は全政府職の 3 分の 1 を女性に割り当てる案を可決しました。これは IPWA にとって大きな前進であり、主な業績として認められています。私はまた、女性リーダーたちと共にネパールの最も僻地にある村を訪れ、IPWA の支部を強化し、女性の権利擁護のための能力開発研修の実施に尽力しました。過去に政党が実施した女性と若者に関するプログラムを成功させてきました。これらは、女性と若者の能力開発に重点を置いた特別に作成されたプログラムで、将来の政策開発のために全国レベルで取り組むべき問題を特定する能力を強化するものです。

憲法の起草から公布にいたるまでのプロセスに関する多くの研修、ワークショップ、セミナー、トレーナー育成研修（TOT）を実施し、女性の権利のための教育とエンパワーメントを女性に対して行ってきました。その後、女性会員は自らの権利を強く主張できるようになり、彼女たちがさらに多くの女性を草の根レベルで教育しました。私は、憲法制定議会や女性指導者の育成において重要なファシリテーターの役割を果たし、憲法制定議会選挙において女性の権利を女性が主張できる能力を強化する草の根レベルの教育を行いました。また、ジェンダー・フ

オーカル・パーソンとして、憲法制定プロセスを通じ、主要政党の女性議員たちと密接に協力してきました。女性議員によって始められたこの活動ですが、今日では、政党と政府機関のすべてのレベルにおいて、女性が33パーセントを占めるまでになりました。今では、彼女たちの多くが閣僚や国会議員など、党内で意思決定を行う立場にいます。現在、ネパールは連邦制度をとっており、地方では女性が40%選出されています。この結果を見ると、地方レベルでは、さらにもっと多くのことができるのではないかと考えています。しかし、数十年にわたる進歩的な政策にもかかわらず、ネパールの社会では家父長制が続き、男性支配の社会が継続しています。女性と共に働くことは面白く、やりがいがあります。このことは、女性の存在価値がほとんど認められていないようなネパールの僻地の村の生活を変えるため、より一生懸命働きたいと思う私のモチベーションになっています。私もひとりの女性として、女性は家族や社会の中で生き残るために多数のタスクをこなしていると感じます。そのため、女性のエンパワーメントを行い、社会的、経済的、政治的に女性の人生を変えるための活動をもっと行わなくてはなりません。

ネパールでは、2015年に憲法が公布されました。最後の地方選挙からおよそ20年が経過し、待ちかねていた地方選挙が2017年5月に行われました。合計35,041名の地方代表が選出されましたが、そのうち14,352名（40.96%）が女性でした。彼女たちには、その役割と責任についてより多くの研修や交流プログラムを行い、国の現在の政治状況の下でどのような仕事をするべきか理解させることが必要です。



女性指導者養成研修期間に党幹部を歓迎するフムラの女性たち。フムラはネパールの中でも最も僻地で隔離された地域の1つであり、徒歩または小型航空機でしかアクセスできない。



カーブレ・パランチョーク郡にて州レベルの研修のファシリテーションを行う筆者